

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバル化に適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
1	学部共通	【1～2年次】 選択必修	コンピュータ入門A	◎		◎	◎	
			コンピュータ入門B	◎		◎	◎	
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択必修	美術共通実技Aa(洋画)		◎		◎	
			美術共通実技Ab(版画)		◎		◎	
			美術共通実技Ac(日本画)		◎		◎	
			美術共通実技Ad(彫塑)		◎		◎	
			美術共通演習Aa(技法—素描)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ab(技法—絵画)		◎		◎	○
			美術共通演習Ac(技法—顔料・日本画)		◎		◎	
			美術共通演習Ad(コンピューター写真)		◎		◎	○
			美術共通演習Ae(コンピューターメディア)		◎		◎	○
			美術共通演習Af(素材—木・紙)		◎		◎	
			美術共通演習Ag(素材—金属)		◎	○	◎	
			美術共通演習Ah(素材—フェルト)		◎	○	◎	
	専攻・領域専門	【1～4年次】 選択必修	デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎 I A	◎		○	○	
芸術文化基礎 I B			○	◎		◎	◎	
芸術文化基礎 I C				◎		◎	◎	
グローバルコミュニケーション I			○	◎		◎	◎	
海外芸術研修 I A			○	◎		◎	◎	
海外芸術研修 I B			○	◎		◎	◎	
日本文化研修A	◎		○	○				

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
2	学科共通	選択必修	美術共通実技Ba(洋画)	◎		◎		
			美術共通実技Bb(絵画－モザイク)	◎		◎		
			美術共通実技Bc(版画)	◎		◎		
			美術共通実技Bd(日本画)	◎		◎		
			美術共通実技Be(彫塑)	◎		◎		
			美術共通演習Ba(技法－素描)	◎		○	◎	
			美術共通演習Bb(技法－絵画)	◎			◎	○
			美術共通演習Bc(技法－顔料・日本画)	◎			◎	
			美術共通演習Bd(コンピューター写真)	◎			◎	○
			美術共通演習Be(コンピューターメディア)	◎			◎	○
			美術共通演習Bf(素材－木・紙)	◎			◎	
			美術共通演習Bg(素材－金属)	◎		○	◎	
美術共通演習Bh(素材－フェルト)	◎		○	◎				
2	学科共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ	◎	◎	◎	◎	
			アート・プラクティスⅡ	◎	◎	◎	◎	
			アート・アクティビティA	◎	◎	◎	◎	
			アート・アクティビティB	◎	◎	◎	◎	
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
		創作活動と法	◎		○	○		
【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ	◎	◎	◎	◎			

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバル化に適應できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
2	専攻・領域専門	【2～4年次】 選択必修	印刷概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅡA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅡB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅡC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅡ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修B	◎		○	○	
芸術文化ゼミⅠ		◎	◎	◎	◎			
3	学部共通	必修	古美術研究	◎		○	○	
		必修	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
	学科共通	【3～4年次】 選択	美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅡ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(色彩)		◎	◎	◎	◎
必修	グローバルコミュニケーションⅢ	○	◎		◎	◎		
4	学科共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅢ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	卒業研究		◎	◎	◎	◎

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバル化に適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
1	学部共通	【1～2年次】 選択必修	コンピュータ入門A	◎		◎	◎	
			コンピュータ入門B	◎		◎	◎	
		必修	基礎学習ゼミ	○	◎		◎	◎
	学科共通	必修	西洋美術全史	◎		○	○	
			日本美術全史	◎		○	○	
		選択	美術選択実技A(油彩画)		◎		◎	
			美術選択実技A(リトグラフ)		◎		◎	
			美術選択実技A(日本画)		◎		◎	
			美術選択実技A(彫塑)		◎		◎	
			美術選択実技A(立体)		◎		◎	
			美術選択演習A(素描/描写)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(パネル作製)		◎		◎	
			美術選択演習A(紙)		◎		◎	
			美術選択演習A(日本画)		◎		◎	
			美術選択演習A(金工/ジュエリー)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(繊維/フェルト)		◎	○	◎	
			美術選択演習A(CG)		◎		◎	○
			美術選択演習A(写真)		◎		◎	○
		美術選択演習A(メディア)		◎		◎	○	
		絵画素材論A	◎		○	○		
	専攻・領域専門	【1～4年次】 選択必修	デザイン・工芸論A	◎		○	○	
			デザイン・工芸論B	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎 I A	◎		○	○	
芸術文化基礎 I B			○	◎		◎	◎	
芸術文化基礎 I C				◎		◎	◎	
グローバルコミュニケーション I			○	◎		◎	◎	
海外芸術研修 I A			○	◎		◎	◎	
海外芸術研修 I B			○	◎		◎	◎	
日本文化研修A	◎		○	○				

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバルイゼーションに適応できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
2	学科 共通	選択	美術選択実技B(古典技法)	◎		◎		
			美術選択実技B(銅版画)	◎		◎		
			美術選択実技B(彫塑)	◎		◎		
			美術選択演習B(素描/描写)	◎		○	◎	
			美術選択演習B(パネル作製)	◎			◎	
			美術選択演習B(紙)	◎			◎	
			美術選択演習B(日本画)	◎			◎	
			美術選択演習B(金工/ジュエリー)	◎		○	◎	
			美術選択演習B(繊維/フェルト)	◎		○	◎	
			美術選択演習B(写真)	◎			◎	○
			美術選択演習B(メディア)	◎			◎	○
			美術選択演習B(製本)	◎			◎	
			美術選択演習B(3D・CG初級)	◎			◎	○
			美術選択演習B(3D・CG中級)	◎			◎	○
			絵画素材論B	◎		○	○	
石彫		◎	○	◎				
2	学科 共通	【2～4年次】 選択必修	アート・プラクティスⅠ	◎	◎	◎	◎	
			アート・プラクティスⅡ	◎	◎	◎	◎	
			アート・アクティビティA	◎	◎	◎	◎	
			アート・アクティビティB	◎	◎	◎	◎	
			色彩文化概論	◎		○	○	
			配色調和論	◎		○	○	
			視覚心理学	◎		○	○	
			カラーキャリアⅠ	◎		○	○	
			カラーキャリアⅡ	◎		○	○	
			技法史	◎		○	○	
			文化資源学	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○	
			ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○	
			デザイン批評A	◎		○	○	
			デザイン批評B	◎		○	○	
			芸術人類学	◎		○	○	
			芸術民俗学	◎		○	○	
			芸術政策と法	◎		○	○	
		創作活動と法	◎		○	○		
【2～4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅠ	◎	◎	◎	◎			

## 【芸術文化専攻】カリキュラムマップ

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」					
芸術学部の教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。					
美術学科の教育目標			美術学科は、過去、現在、未来にわたる、広範な芸術的制作、芸術的理論の探求に基づき、芸術表現およびその研究を練磨すること、平面表現、立体表現の制作技術の鍛錬、作品コンセプトの熟成、芸術理論による表象的意味の理解を通して、社会に対する深い洞察に基づいた創造的活動を持続的に行える人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻の教育目標			芸術文化専攻では文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、グローバル化に適應できる教養人、芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材の育成を教育目標とする。					
芸術文化専攻カリキュラム			芸術学部のディプロマポリシー					
年次	科目区分	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」	
2	専攻・領域専門	【2～4年次】 選択必修	印刷概論	◎		○	○	
			工芸史A(染織)	◎		○	○	
			工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
		必修	芸術文化基礎ⅡA	◎		○	○	
			芸術文化基礎ⅡB	○	◎		◎	◎
			芸術文化基礎ⅡC		◎		◎	◎
			グローバルコミュニケーションⅡ	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡA	○	◎		◎	◎
			海外芸術研修ⅡB	○	◎		◎	◎
			日本文化研修B	◎		○	○	
芸術文化ゼミⅠ		◎	◎	◎	◎			
3	学部共通	必修	古美術研究	◎		○	○	
		必修	芸術文化オープンゼミⅡ		◎	◎	◎	◎
	学科共通	【3～4年次】 選択	美術教育論A	◎		◎		◎
			美術教育論B	◎		◎		◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅡ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅡ(色彩)		◎	◎	◎	◎
必修	グローバルコミュニケーションⅢ	○	◎		◎	◎		
4	学科共通	【4年次】 選択	芸術文化オープンゼミⅢ		◎	◎	◎	◎
	専攻・領域専門	選択必修	芸術文化ゼミⅢ(芸術表象)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(美術史)		◎	◎	◎	◎
			芸術文化ゼミⅢ(色彩)		◎	◎	◎	◎
		必修	卒業研究		◎	◎	◎	◎